# 小牧市まちづくり推進計画

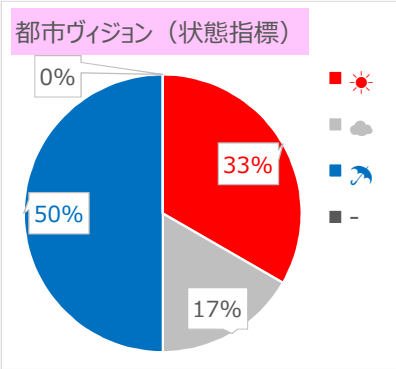
## 第2次基本計画に掲げる指標の進捗状況
## ―集計結果―

令和7年 1月

# もくじ


| | | ページ数 |
|---|---|---|
| １． | 結果まとめ | ３ |
| ２． | 都市ヴィジョン・市政戦略編の指標 | ４ |
| ３． | 分野別計画編の指標 | ６ |
| | ① 安全・環境 | ６ |
| | ② 健康・福祉 | ８ |
| | ③ 教育・子育て | 11 |
| | ④ 文化・スポーツ | 13 |
| | ⑤ 産業・交流 | 14 |
| | ⑥ 都市基盤・交通 | 16 |
| ４． | 自治体経営編の指標 | 19 |

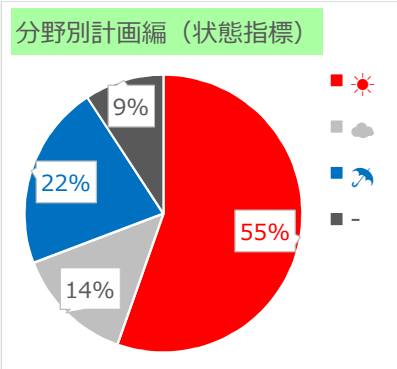
| | | | R5 |
|---|---|---|---|
| 都市ヴィジョン<br>1<br>こども夢・チャレンジNo.1都市<br><br>2<br>健康・支え合い循環都市<br><br>3<br>魅力・活力創造都市 | 状態指標 | ☀ | 2 |
| | | ☁ | 1 |
| | | ☂ | 3 |
| | | – | 0 |
| 市政戦略編<br>戦略1<br><br>戦略2<br><br>戦略3 | 成果指標 | ☺ | – |
| | | 😐 | – |
| | | ☹ | – |
| | | – | – |

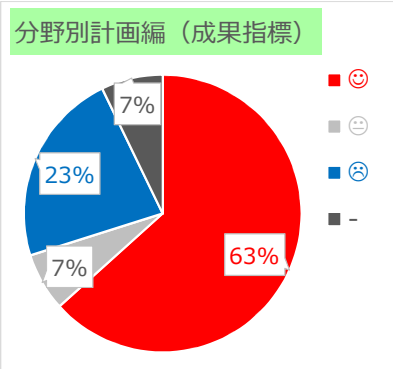



※市政戦略編の成果指標については令和8年度に目標値を設定しているため、令和8年度の実績値で評価します。

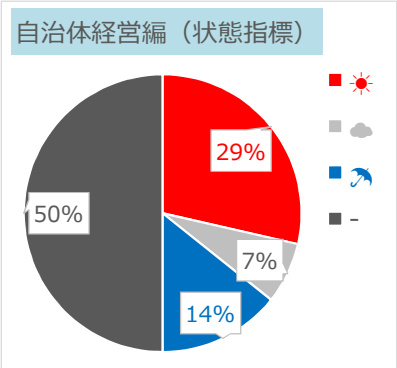
◆基準値は原則として令和4年度の数値を示しており、基準年度が異なる場合には基準値の下に（ ）書きで示しています。
◆次ページ以降の「今回の結果」欄に「※」があるものは、市民意識調査（アンケート）の結果のうち、標本誤差の影響により見た目の数値（実績値）と結果のマークが一致していないものです。
◆標本誤差については、『市民意識調査の概要_R5年度実績（R6年実施）』をご覧ください。

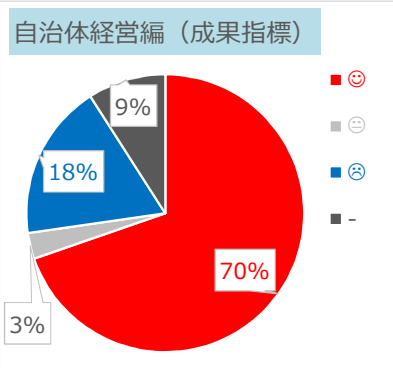
| | | | R5 |
|---|---|---|---|
| 分野別計画編<br>1安全・環境<br>2健康・福祉<br>3教育・子育て<br>4文化・スポーツ<br>5産業・交流<br>6都市基盤・交通 | 状態指標 | ☀ | 36 |
| | | ☁ | 9 |
| | | ☂ | 14 |
| | | – | 6 |
| | 成果指標 | ☺ | 159 |
| | | 😐 | 17 |
| | | ☹ | 57 |
| | | – | 18 |




| | | | R5 |
|---|---|---|---|
| 自治体経営編<br><br>基本施策<br>㉚協働・情報共有<br>㉛行政サービス<br>㉜行政運営<br>㉝財政運営 | 状態指標 | ☀ | 4 |
| | | ☁ | 1 |
| | | ☂ | 2 |
| | | – | 7 |
| | 成果指標 | ☺ | 23 |
| | | 😐 | 1 |
| | | ☹ | 6 |
| | | – | 3 |




今回の調査結果に基づき、計画に掲げる指標の基準値から実績値への数値の変化と、指標の「目指す方向」を比較した結果を以下のように示しています。

| | |
|---|---|
| 状態指標 | まちの状態を客観的に表す指標です。 |
| ☀ | 基準値から実績値への変化が「目指す方向」と一致している指標 |
| ☁ | 基準値から実績値への変化がない指標 |
| ☂ | 基準値から実績値への変化が「目指す方向」と一致していない指標 |

| | |
|---|---|
| 成果指標 | 展開方向の進捗状況を測定するための指標です。展開方向の手段の実施により、目標にどの程度近づいているのかを客観的に確認するための指標です。 |
| ☺ | 基準値から実績値への変化が「目指す方向」と一致している指標 |
| 😐 | 基準値から実績値への変化がない指標 |
| ☹ | 基準値から実績値への変化が「目指す方向」と一致していない指標 |

「－」は、（計画期間中の）実績値が出ていない、もしくは「目指す方向」が示されていない指標

# 都市ヴィジョン・市政戦略編

## 都市ヴィジョン１　「こども夢・チャレンジNo.１都市」

**【まちの状態を表す指標】**

| 指標名 | 基準値（単位も記入） | R5 実績値 | 目指す方向 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| 将来の夢や目標を持っているこどもの割合 | 78.9% | 79.8% | ↗ | ☀ | こども政策課 |
| 安心して子育てができるまちだと思う保護者の割合 | 89.6%（令和3年度） | 86.1% | ↗ | ☂ | こども政策課 |

## 都市ヴィジョン２　「健康・支え合い循環都市」

**【まちの状態を表す指標】**

| 指標名 | 基準値（単位も記入） | R5 実績値 | 目指す方向 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| 生きがいを持って暮らしている65歳以上の市民の割合 | 79.5%（令和3年度） | 75.2% | ↗ | ☂ | 健康生きがい推進課 |
| 地域に貢献する活動をしている市民の割合 | 18.5%（令和3年度） | 23.1% | ↗ | ☀ | 支え合い協働推進課 |

## 都市ヴィジョン３　「魅力・活力創造都市」

**【まちの状態を表す指標】**

| 指標名 | 基準値（単位も記入） | R5 実績値 | 目指す方向 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| 小牧市に愛着や誇りを感じている市民の割合 | 79.9%（令和3年度） | 81.3% | ↗ | ☁ ※ | 秘書政策課 |
| 名鉄小牧線沿線居住人口 | 88,975人 | 88,837人 | ↗ | ☂ | 都市整備課 |

## 戦略１　すべてのこどもたちが夢を育みチャレンジできる環境を創出

**重点事業１－１　すべてのこどもたちの夢への挑戦を応援**

| 指標名 | 基準値（単位も記入） | R5 実績値 | 目標値（令和8年度） | 目標値（令和12年度） | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| こまきこども未来大学の受講者数 | 139人 | 178人 | 190人 | 240人 | 秘書政策課 |
| 駒来塾の参加者数 | 74人 | 100人 | 100人 | 120人 | こども政策課 |

**重点事業１－２　子育て家庭への支援を強化**

| 指標名 | 基準値（単位も記入） | R5 実績値 | 目標値（令和8年度） | 目標値（令和12年度） | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| 子育て世代包括支援センターや各児童館（子育て支援室）での相談件数 | 7,976件 | 8,205件 | 8,500件 | 9,000件 | 子育て世代包括支援センター<br>多世代交流プラザ |
| 子育てについて相談できる人がいる保護者の割合 | 96.5% | 95.9% | 100% | 100% | 保健センター |

**重点事業１－３　未来を見据えた教育環境の整備**

| 指標名 | 基準値（単位も記入） | R5 実績値 | 目標値（令和8年度） | 目標値（令和12年度） | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| タブレットを活用した授業はわかりやすいと感じている児童生徒の割合 | 82.2% | － | 85.0% | 87.0% | 学校教育ICT推進室 |
| 新たな学校づくり推進計画の策定 | 設定なし | 策定中 | 策定 | 設定なし | 教育総務課 |

## 戦略2　“健康・生きがいづくり”と“支え合いの地域づくり”の循環により、自分らしく いきいきと安心して暮らすことができる「活力ある高齢社会（小牧モデル）」を構築

**重点事業２－１　人生100年時代の健康づくり**

| 指標名 | 基準値（単位も記入） | R5実績値 | 目標値（令和8年度） | 目標値（令和12年度） | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| 週1回以上適度な運動をしている成人市民の割合 | 53.6%（令和3年度） | 57.0% | 65.0% | 70.0% | 文化・スポーツ課 |
| フレイルチェック測定会参加者数 | 119人 | 154人 | 600人 | 1,100人 | 健康生きがい推進課 |

**重点事業２－２　生涯学習を通じた生きがいづくりと地域を支える人材育成**

| 指標名 | 基準値（単位も記入） | R5実績値 | 目標値（令和8年度） | 目標値（令和12年度） | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| 生涯学習に関する講座の受講者数 | 5,884人 | 9,217人 | 10,000人 | 12,000人 | 文化・スポーツ課 |
| ボランティア新規登録者数（累計） | 0人 | 348人 | 450人 | 680人 | 福祉総務課<br>支え合い協働推進課 |

**重点事業２－３　健康づくり・地域の支え合い活動の循環**

| 指標名 | 基準値（単位も記入） | R5実績値 | 目標値（令和8年度） | 目標値（令和12年度） | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| こまきいきいきポイント還元者数 | 4,395人 | 4,936人 | 5,300人 | 6,000人 | 健康生きがい推進課<br>支え合い協働推進課 |
| 福祉分野の活動をしている地域協議会の割合 | 69.2% | 69.2% | 78.6% | 86.7% | 支え合い協働推進課 |
| 市内限定商品券が使える店舗数 | 604店 | 589店 | 現状維持 | 現状維持 | 商工振興課 |

## 戦略3　「住みたい」「働きたい」「訪れたい」魅力あふれる小牧を創造

**重点事業３－１　関係人口の拡大・深化**

| 指標名 | 基準値（単位も記入） | R5実績値 | 目標値（令和8年度） | 目標値（令和12年度） | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市政情報に関する動画の閲覧数（累計） | 105万回 | 126万回 | 190万回 | 280万回 | 広報広聴課 |
| ふるさと納税の寄附者数 | 56,088人 | 64,651人 | 74,000人 | 89,000人 | 商工振興課 |

**重点事業３－２　魅力と活力ある中心市街地の創出**

| 指標名 | 基準値（単位も記入） | R5実績値 | 目標値（令和8年度） | 目標値（令和12年度） | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| 中心市街地まちづくりプラットフォーム登録者数 | 96人 | 111人 | 130人 | 210人 | 都市整備課 |
| 中心市街地に立地している主な公共施設の来館者数 | 101万人 | 108万人 | 105万人 | 110万人 | 多世代交流プラザ<br>図書館 |
| 史跡小牧山を訪れた人の数 | 35万人（令和4年） | 41万人（令和5年） | 38万人（令和8年） | 41万人（令和12年） | ｼﾃｨﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ課 |

**重点事業３－３　夢と希望あふれる東部地域の振興**

| 指標名 | 基準値（単位も記入） | R5実績値 | 目標値（令和8年度） | 目標値（令和12年度） | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| 東部まちづくりプラットフォーム登録者数 | 75人 | 109人 | 140人 | 180人 | 東部まちづくり推進室 |

**重点事業３－４　市内産業力の強化と地域経済の活性化**

| 指標名 | 基準値（単位も記入） | R5実績値 | 目標値（令和8年度） | 目標値（令和12年度） | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|
| 企業新展開支援プログラムを通じた支援件数 | 919件 | 897件 | 930件 | 940件 | 商工振興課<br>企業立地・次世代産業推進課 |
| 魅力あるふるさと納税返礼品の種類 | 378品 | 494品 | 650品 | 930品 | 商工振興課 |

# 分野別計画編

| 基本施策名 | | 指標名 | 基準値<br>（単位も記入） | 目指す方向<br>（もしくは目標値） | R5<br>実績値 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 防災・減災 | | 自然災害による死傷者数 | 0人 | → | 0人 | ☀ | 防災危機管理課 |
| | 展開方向1<br>市民一人ひとりの防災意識を高めます | 水や食料品などの災害用備蓄品を備蓄している市民の割合 | 54.3%<br>（令和3年度） | ↗ | 53.3% | 😐※ | 防災危機管理課 |
| | | 家具の転倒防止などの措置をしている市民の割合 | 40.0%<br>（令和3年度） | ↗ | 36.6% | ☹ | 防災危機管理課 |
| | | 避難所を知っている市民の割合 | 76.0%<br>（令和3年度） | ↗ | 73.8% | ☹ | 防災危機管理課 |
| | | 市公式LINEで災害情報のセグメントを登録している市民の数 | 39,739人<br>（令和5年度） | ↗ | － | － | 防災危機管理課 |
| | 展開方向2<br>災害に備えて地域で支え合う風土を醸成します | 防災訓練への参加者数 | 2,187人 | ↗ | 2,838人 | ☺ | 防災危機管理課 |
| | | 災害時外国人支援ボランティアが防災訓練に参加した学校数 | 6校 | ↗ | 6校 | 😐 | 防災危機管理課 |
| | | 自主防災会活動支援補助金の活用団体数 | 94団体 | ↗ | 111団体 | ☺ | 防災危機管理課 |
| | 展開方向3<br>災害時に迅速に対応できる体制を強化します | 市職員向けの研修・訓練回数 | 7回 | ↗ | 7回 | 😐 | 防災危機管理課 |
| | | 災害時に備えた関係団体との研修回数 | 7回 | ↗ | 8回 | ☺ | 防災危機管理課 |
| 2 交通安全・防犯 | | 人身事故件数 | 541件<br>（令和4年） | ↘ | 561件<br>（令和5年） | ☂ | 市民安全課 |
| | | 刑法犯認知件数 | 874件<br>（令和4年） | ↘ | 958件<br>（令和5年） | ☂ | 市民安全課 |
| | | 消費生活センターで把握した消費者トラブルの件数 | 921件 | ↘ | 971件 | ☂ | 市民安全課 |
| | 展開方向1<br>交通安全意識と交通安全マナーを高めます | 交通安全教育への参加者数 | 3,171人 | ↗ | 4,114人 | ☺ | 市民安全課 |
| | | 啓発活動などへの参加企業数 | 4社 | ↗ | 8社 | ☺ | 市民安全課 |
| | | 交通安全対策事業への高齢者の参加者数 | 251人 | ↗ | 350人 | ☺ | 市民安全課 |
| | | 自転車に乗る時にヘルメットを着用している割合 | 7.1%<br>（令和3年度） | ↗ | 25.2% | ☺ | 市民安全課 |
| | 展開方向2<br>犯罪を防ぐ地域の防犯力を高めます | 空き巣、忍び込み防止対策をしている市民の割合 | 51.0%<br>（令和3年度） | ↗ | 47.5% | ☹ | 市民安全課 |
| | | 自動車盗、部品ねらい、車上ねらいの防止対策をしている自動車の保有者の割合 | 39.0%<br>（令和3年度） | ↗ | 39.0% | 😐 | 市民安全課 |
| | | 防犯カメラ設置数 | 749台 | ↗ | 853台 | ☺ | 市民安全課 |
| | | 防犯教育や防犯訓練への参加者数 | 313人 | ↗ | 453人 | ☺ | 市民安全課 |
| | 展開方向3<br>消費生活に関し、安心して相談できる環境を整えます | 消費生活センターを知っている市民の割合 | 58.5%<br>（令和3年度） | ↗ | 53.8% | ☹ | 市民安全課 |
| | | 高齢者の見守り支援関連団体への啓発実施回数 | 2回 | ↗ | 2回 | 😐 | 市民安全課 |
| | | 小中学校を中心とした若年層への啓発実施回数 | 0回<br>（令和5年度） | ↗ | － | － | 市民安全課 |

| 基本施策名 | | 指標名 | 基準値<br>（単位も記入） | 目指す方向<br>（もしくは目標値） | R5<br>実績値 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 消防・救急 | | 建物火災による死者数（放火自殺者を除く）（累計） | 4人<br>（平成31～令和4年の累計） | ↘ | 0人<br>（令和5～8年の累計） | ☀ | 消防本部 |
| | | 建物火災による負傷者数（放火自殺者を除く）（累計） | 27人<br>（平成31～令和4年の累計） | ↘ | 6人<br>（令和5～8年の累計） | ☀ | 消防本部 |
| | | 建物火災の発生件数（累計） | 84件<br>（平成31～令和4年の累計） | ↘ | 33件<br>（令和5～8年の累計） | ☀ | 消防本部 |
| | | 救命率 | 5.1%<br>（令和4年） | ↗ | 2.1%<br>（令和5年） | ☂ | 消防本部 |
| | 展開方向1<br>火災予防対策を充実します | 住宅用火災警報器の条例適合設置率 | 72.0% | ↗ | 73.2% | ☺ | 消防本部 |
| | | 重大な消防法令違反の特定防火対象物数 | 0棟 | → | 0棟 | ☺ | 消防本部 |
| | | 耐震性防火水槽の割合 | 39.3% | ↗ | 40.5% | ☺ | 消防本部 |
| | 展開方向2<br>救命率の向上を図ります | 救命講習及び救命入門コースの受講者数 | 2,427人<br>（令和4年） | ↗ | 4,499人<br>（令和5年） | ☺ | 消防本部 |
| | | 心肺停止傷病者に対する市民の応急手当実施率 | 64.6%<br>（令和4年） | ↗ | 66.0%<br>（令和5年） | ☺ | 消防本部 |
| | | 救急車への救急救命士の搭乗率 | 100%<br>（令和4年） | → | 100%<br>（令和5年） | ☺ | 消防本部 |
| | | 救急車の現場到着所要時間 | 8.3分<br>（令和4年） | ↘ | 8.0分<br>（令和5年） | ☺ | 消防本部 |
| | 展開方向3<br>消防団活動の充実強化を図ります | 消防団員の定員に対する充足率 | 100% | → | 100% | ☺ | 消防本部 |
| | | 消防団員が訓練に参加した延べ人数 | 2,439人 | ↗ | 2,690人 | ☺ | 消防本部 |
| 4 ごみ・資源・エネルギー | | 1人1日当たりのごみの排出量（家庭系ごみ） | 439.2g | ↘ | 421.0g | ☀ | ごみ政策課 |
| | | 事業系ごみの年間排出量 | 10,531t | ↘ | 10,396t | ☀ | ごみ政策課 |
| | | 市内温室効果ガス排出量 | 1,865千t-CO2<br>（令和2年度） | ↘ | 2,043千t-CO2<br>（令和3年度） | ☂ | ゼロカーボンシティ推進室 |
| | 展開方向1<br>ごみの適正な排出を徹底します | ごみ分別アプリサービス（さんあ～る）の登録件数 | 5,486件 | ↗ | 9,290件 | ☺ | ごみ政策課 |
| | | 廃棄物適正処理指導員が対応した不適正排出の件数 | 707件 | ↘ | 725件 | ☹ | ごみ政策課 |
| | | 特別収集の受付件数 | 907件 | ↘ | 597件 | ☺ | ごみ政策課 |
| | | こまやか収集実施世帯数 | 358世帯 | ↗ | 353世帯 | ☹ | リサイクルプラザ |
| | 展開方向2<br>市民・事業者・行政の協働による5Rの取組を推進し | 再資源化率 | 36.6%<br>（令和3年度） | ↗ | 36.5%<br>（令和4年度） | ☹ | ごみ政策課 |
| | | 再資源化施設で処理された事業系ごみの量 | 4,283t | ↗ | 4,673t | ☺ | ごみ政策課 |

| 基本施策名 | | 指標名 | 基準値（単位も記入） | 目指す方向（もしくは目標値） | R5 実績値 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 展開方向3 エネルギーの地産地消を進めます | 地球温暖化対策設備の設置補助件数（累計） | 854件 | ↗ | 1,094件 | ☺ | ゼロカーボンシティ推進室 |
| | | 事業者に対する省エネルギーの支援件数（累計） | 9件 | ↗ | 16件 | ☺ | 商工振興課 |
| | | 公共施設のエネルギー消費量（原油換算） | 12,054kl（令和3年度） | ↘ | 11,754kl（令和4年度） | ☺ | ゼロカーボンシティ推進室 |
| | | 太陽光発電設備導入施設数 | 49施設（令和4年度末） | ↗ | 49施設（令和5年度末） | 😐 | ゼロカーボンシティ推進室 |
| | 展開方向4 環境意識を高めます | 小中学生の環境にやさしい生活の達成基準（エコライフチェックシート） | 71.9% | ↗ | 72.1% | ☺ | 環境対策課 |
| | | 日頃から省エネルギーを意識した行動を実践している市民の割合 | 69.9%（令和3年度） | ↗ | 70.1% | 😐※ | 環境対策課 |
| 5 自然・生活環境 | | 大気汚染に係る環境基準達成項目数（全4項目） | 3項目（令和3年度） | ↗ | 3項目（令和4年度） | ☁ | 環境対策課 |
| | | 水質汚濁に係る環境基準達成項目数（全5項目） | 4項目（令和3年度） | ↗ | 5項目（令和4年度） | ☀ | 環境対策課 |
| | | 公害苦情発生件数 | 179件 | ↘ | 167件 | ☀ | 環境対策課 |
| | | 回収した不法投棄のごみの量 | 24t | ↘ | 16t | ☀ | ごみ政策課 |
| | 展開方向1 豊かな自然環境や生物多様性を保全します | 自然環境学習（水生生物調査など）の実施回数 | 7回 | ↗ | 13回 | ☺ | 環境対策課 |
| | | 特定外来生物の駆除活動実施回数 | 3回 | ↗ | 4回 | ☺ | 環境対策課 |
| | 展開方向2 良好な生活環境を保全・形成します | 環境保全協定締結事業所数（累計） | 26件 | ↗ | 27件 | ☺ | 環境対策課 |
| | | 合併処理浄化槽への転換補助基数 | 9基 | ↗ | 8基 | ☹ | 環境対策課 |
| | 展開方向3 地域の環境美化を推進します | アダプトプログラム活動者数 | 15,186人 | ↗ | 16,267人 | ☺ | ごみ政策課 |
| | | クリーンアップ事業活動者数 | 43,430人 | ↗ | 95,534人 | ☺ | ごみ政策課 |
| 6 健康・予防 | | 健康寿命（男性） | 80.34年（令和元年） | ↗ | 80.36年（令和2年） | ☀ | 健康生きがい推進課 |
| | | 健康寿命（女性） | 84.19年（令和元年） | ↗ | 84.16年（令和2年） | ☂ | 健康生きがい推進課 |
| | 展開方向1 健康づくりの習慣化に向けた取組を支援します | ウォーキングアプリ「alko」のダウンロード件数 | 21,261件 | ↗ | 24,610件 | ☺ | 健康生きがい推進課 |
| | | 健康いきいきポイントの利用者数 | 478人 | ↗ | 831人 | ☺ | 健康生きがい推進課 |
| | | 健康経営に取り組んでいる企業数 | 227社 | ↗ | 314社 | ☺ | 健康生きがい推進課 |
| | | 毎日、朝食を食べている児童の割合 | 82.0% | ↗ | 78.0% | ☹ | 健康生きがい推進課 |
| | | 毎日、朝食を食べている生徒の割合 | 73.2% | ↗ | 73.4% | ☺ | 健康生きがい推進課 |
| | 展開方向2 フレイル予防の取組を支援します | サロンなど地域におけるフレイル予防事業参加者数 | 597人 | ↗ | 777人 | ☺ | 健康生きがい推進課 |
| | | 健康状態不明者数（健診・医療未受診者数） | 1,232人 | ↘ | 904人 | ☺ | 健康生きがい推進課 |

| 基本施策名 | | 指標名 | 基準値<br>（単位も記入） | 目指す方向<br>（もしくは目標値） | R5<br>実績値 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 展開方向3<br>高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進します | アクティブシニアの総合相談窓口の相談件数 | 40件 | ↗ | 58件 | ☺ | 健康生きがい推進課 |
| | | こまき市民交流テラス「ワクティブこまき」を拠点とした取組への参加者数 | 391人 | ↗ | 1,466人 | ☺ | 健康生きがい推進課 |
| | | 総合相談窓口を通じた関係機関、団体へのマッチング数 | 47件<br>（令和5年度） | ↗ | － | － | 健康生きがい推進課 |
| | 展開方向4<br>心と体の健康づくりの取組を支援します | 胃がん検診受診率 | 7.7% | ↗ | 7.3% | ☹ | 保健センター |
| | | 大腸がん検診受診率 | 11.8% | ↗ | 11.4% | ☹ | 保健センター |
| | | 肺がん検診受診率 | 12.7% | ↗ | 12.3% | ☹ | 保健センター |
| | | 乳がん検診受診率 | 4.2% | ↗ | 4.3% | ☺ | 保健センター |
| | | 子宮頸がん検診受診率 | 5.3% | ↗ | 5.4% | ☺ | 保健センター |
| | | 健康づくり出前講座の受講者数 | 590人 | ↗ | 971人 | ☺ | 保健センター |
| | | いきいき世代個別歯科健診受診率 | 9.4% | ↗ | 7.6% | ☹ | 保健センター |
| | | ゲートキーパー養成講座受講者数 | 279人 | ↗ | 294人 | ☺ | 保健センター |
| **7 地域福祉** | | 地域福祉活動に参加している市民の割合 | 28.3%<br>（令和3年度） | ↗ | 29.9% | ☁※ | 地域包括ケア推進課 |
| | 展開方向1<br>地域福祉活動の活性化を進めます | 福祉体験学習への参加者数 | 34人 | ↗ | 69人 | ☺ | 福祉総務課 |
| | | ココボラへの参加者数 | 55人 | ↗ | 97人 | ☺ | 福祉総務課 |
| | 展開方向2<br>地域における支え合いの仕組みづくりを進めます | 避難行動要支援者台帳の登録割合 | 57.2% | ↗ | 53.3% | ☹ | 福祉総務課 |
| | | 民生委員・児童委員の相談件数 | 6,159件 | ↗ | 6,684件 | ☺ | 福祉総務課 |
| | | ふくし座談会への参加者数 | 66人 | ↗ | 329人 | ☺ | 地域包括ケア推進課 |
| | | 専門職によるふれあい・いきいきサロンにおける相談巡回件数 | 256件 | ↗ | 254件 | ☹ | 地域包括ケア推進課 |
| | | お互いさまサポーター登録者数 | 1,312人 | ↗ | 1,321人 | ☺ | 支え合い協働推進課 |
| | 展開方向3<br>重層的支援体制を整えます | 相談に対して生活困窮者支援プランを作成し課題解決につながった割合 | 52.3% | ↗ | 13.7% | ☹ | 福祉総務課 |
| | | 多機関協働による相談支援件数 | 2件<br>（令和5年度） | ↗ | － | － | 福祉総務課<br>地域包括ケア推進課 |

| 基本施策名 | | 指標名 | 基準値（単位も記入） | 目指す方向（もしくは目標値） | R5 実績値 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8 介護・高齢者福祉 | | 介護保険第1号被保険者の要介護（要支援）認定率 | 14.0% | 計画推計値より↘ | 14.7% | ☂ | 介護保険課 |
| | | 要介護（要支援）認定者のうち在宅などで暮らしている市民の割合 | 79.9% | ↗ | 81.6% | ☀ | 介護保険課 |
| | 展開方向1 健全な介護保険制度を運営します | 地域密着型サービス施設の定員数 | 511人 | ↗ | 538人 | ☺ | 介護保険課 |
| | | 介護職員研修受講者数 | 34人 | ↗ | 24人 | ☹ | 介護保険課 |
| | | 介護予防・日常生活支援総合事業開始とともに始まった多様なサービス（住民主体等）の利用者数 | 91人 | ↗ | 101人 | ☺ | 介護保険課 |
| | | ケアプラン点検の実施件数 | 141件 | ↗ | 154件 | ☺ | 介護保険課 |
| | 展開方向2 認知症の人とその家族に対するサポート体制を強化します | 認知症初期集中支援チームが支援した人数 | 13人 | ↗ | 11人 | ☹ | 地域包括ケア推進課 |
| | | 認知症カフェやチームオレンジ（認知症の人やその家族を支援する取組や団体）の数 | 16か所 | ↗ | 16か所 | 😐 | 地域包括ケア推進課 |
| | | 尾張北部権利擁護支援センターへの高齢者の権利擁護に関する相談人数 | 98人 | ↗ | 86人 | ☹ | 地域包括ケア推進課 |
| | 展開方向3 介護予防の環境づくりを推進します | 週1回以上こまき山体操を実施している団体数 | 7団体 | ↗ | 11団体 | ☺ | 地域包括ケア推進課 |
| | | こまき介護予防推進リーダーの人数 | 117人 | ↗ | 124人 | ☺ | 地域包括ケア推進課 |
| | 展開方向4 高齢者がいきいきと暮らせる環境を整えます | 老人福祉センターの利用者数 | 124,799人 | ↗ | 198,581人 | ☺ | 地域包括ケア推進課 |
| | | シルバー人材センター会員就業率 | 86.3% | ↗ | 85.4% | ☹ | 地域包括ケア推進課 |
| 9 障がい者（児）福祉 | | 障がいを理由に差別を受けたり嫌な思いをした経験がある障がい者（児）の割合 | 18.1% | ↘ | － | － | 障がい福祉課 |
| | | 福祉施設から地域へ移行した人数（累計） | 11人（令和3年度） | ↗ | 12人（令和4年度） | ☀ | 障がい福祉課 |
| | | ハローワーク春日井管内における企業の障害者雇用率 | 2.21% | ↗ | 2.38% | ☀ | 障がい福祉課 |
| | 展開方向1 障がいに関する正しい理解を深めます | ヘルプマークを知っている市民の割合 | 64.3%（令和3年度） | ↗ | 76.8% | ☺ | 障がい福祉課 |
| | | 障がいに関する研修会への参加者数 | 159人 | ↗ | 374人 | ☺ | 障がい福祉課 |
| | | 「障がい者（児）スポーツレクリエーションのつどい」への参加者数と参加ボランティア人数 | 193人 | ↗ | 273人 | ☺ | 障がい福祉課 |
| | | 市が主催又は後援する芸術作品などを発表する機会に出展した障がい者の人数 | 127人 | ↗ | 116人 | ☹ | 障がい福祉課 |
| | 展開方向2 相談支援体制を充実します | 障害者相談支援事業相談件数 | 15,133件 | ↗ | 14,844件 | ☹ | 障がい福祉課 |
| | | 尾張北部権利擁護支援センターへの障がい者の権利擁護に関する相談人数 | 85人 | ↗ | 88人 | ☺ | 障がい福祉課 |
| | | 市民後見人候補者名簿登録人数（累計） | － | ↗ | － | － | 障がい福祉課 |
| | 展開方向3 障がい者の自立や社会参加を支援します | 相談員などによるサービス利用計画の作成割合 | 56.4% | ↗ | 53.9% | ☹ | 障がい福祉課 |
| | | 障害者優先調達推進法に基づく市の物品などの調達実績額 | 19,966,531円 | ↗ | 25,539,419円 | ☺ | 障がい福祉課 |
| | | 市の意思疎通支援事業を利用した実人数 | 13人 | ↗ | 19人 | ☺ | 障がい福祉課 |

| 基本施策名 | | 指標名 | 基準値（単位も記入） | 目指す方向（もしくは目標値） | R5 実績値 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10 医療保険・地域医療 | | 往診や訪問診療を行う医療機関数 | 81か所（令和3年度） | ↗ | 80か所（令和4年度） | ☂ | 地域包括ケア推進課 |
| | | 市内の医療機関が看取りを行った人数 | 365人（令和3年度） | ↗ | 374人（令和4年度） | ☀ | 地域包括ケア推進課 |
| | 展開方向1 健全な医療保険制度を運営します | 国民健康保険税現年収納率 | 94.4%（令和3年度） | ↗ | 94.1%（令和4年度） | ☹ | 保険医療課 |
| | | 特定健診受診率 | 40.5%（令和3年度） | ↗ | 40.8%（令和4年度） | ☺ | 保険医療課 |
| | | 国民健康保険1人当たり保険給付費 | 288,810円（令和3年度） | ↘ | 310,313円（令和4年度） | ☹ | 保険医療課 |
| | 展開方向2 在宅医療・介護の支援体制を充実します | 多職種による研修会やカンファレンスの参加者数 | 484人 | ↗ | 417人 | ☹ | 地域包括ケア推進課 |
| | | 電子連絡帳への登録患者数 | 303人 | ↗ | 380人 | ☺ | 地域包括ケア推進課 |
| | | 在宅医療やACPに関する講演会・出前講座の参加者数 | 77人 | ↗ | 267人 | ☺ | 地域包括ケア推進課 |
| | 展開方向3 市民病院を核とする地域医療体制を充実します | 救急搬送患者の応需率 | 90.6% | ↗ | 94.2% | ☺ | 市民病院 |
| | | 市民病院が提供する地域医療ネットワークシステムの登録医療機関数 | 71か所 | ↗ | 79か所 | ☺ | 市民病院 |
| | | 経常収支比率（病院事業） | 91.8%（令和元年度） | 100%以上 | 95.2% | ☹ | 市民病院 |
| | 展開方向4 休日急病診療所の適正運営に努めます | 休日急病診療所受診者のうち適正受診者割合 | 71.7% | ↗ | 79.1% | ☺ | 保健センター |
| | | 休日に急病で医療機関を受診できずに困ったことがある市民の割合 | 10.4%（令和3年度） | ↘ | 17.4% | ☹ | 保健センター |
| 11 学校教育 | | 学校が楽しいと思うこどもの割合 | 91.0% | ↗ | 92.3% | ☀ | 学校教育課 |
| | | 不登校児童生徒数 | 631人 | ↘ | 684人 | ☂ | 学校教育課 |
| | | 児童生徒の登下校中の交通事故件数 | 6件 | ↘ | 10件 | ☂ | 教育総務課 |
| | 展開方向1 児童生徒の学びや学校生活を充実します | 自分の考えを伝えようとしている児童生徒の割合 | 75.0%（令和5年度） | ↗ | － | － | 学校教育課 |
| | | 授業において友達の考えを聴こうとしている児童生徒の割合 | 95.7%（令和5年度） | ↗ | － | － | 学校教育課 |
| | | 夏季教職員研修で「大変ためになった」と答えた教職員の割合 | 66.8% | ↗ | 45.3% | ☹ | 学校教育課 |
| | | ゲストティーチャーによる活動回数 | 183回 | ↗ | 224回 | ☺ | 学校教育課 |
| | | 勤務時間外の在校時間が月80時間を超過している教職員の割合 | 10.2% | ↘ | 4.2% | ☺ | 学校教育課 |
| | 展開方向2 児童生徒や家庭への支援体制を強化します | スクールソーシャルワーカーの支援により、状況が改善した件数 | 170件 | ↗ | 221件 | ☺ | 学校教育課 |
| | | いじめの解消率（小学校） | 67.8% | ↗ | 67.7% | ☹ | 学校教育課 |
| | | いじめの解消率（中学校） | 52.5% | ↗ | 45.1% | ☹ | 学校教育課 |
| | | 不登校児童生徒のうち、登校できるようになった者及び良い変化があった者の割合 | 25.5% | ↗ | 38.2% | ☺ | 学校教育課 |
| | | 語学相談員1人当たりの児童生徒数 | 46.9人 | ↘ | 45.0人 | ☺ | 学校教育課 |

| 基本施策名 | | 指標名 | 基準値（単位も記入） | 目指す方向（もしくは目標値） | R5 実績値 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 展開方向3 安全・安心な学校給食を提供します | 残食率 | 9.3% | ↘ | 12.5% | ☹ | 学校給食課 |
| | | 食育の一環として学校給食に地元食材を使用した回数 | 221回 | ↗ | 191回 | ☹ | 学校給食課 |
| | | 学校で行った食育の回数 | 94回 | ↗ | 97回 | ☺ | 学校給食課 |
| | | 食物アレルギーによる事故件数 | 2件 | ↘ | 0件 | ☺ | 学校給食課 |
| | 展開方向4 ICT教育環境を整備し、ICTを活用した学びを充実します | ICTを効果的に活用して授業をしている教員の割合 | 80.0% | ↗ | 84.5% | ☺ | 学校教育ICT推進室 |
| | | 1日1回以上タブレットを活用しているクラスの割合 | 60.4% | ↗ | 68.4% | ☺ | 学校教育ICT推進室 |
| | | 学習者用デジタル教科書を活用している児童生徒の割合 | 48.6%（令和5年度） | ↗ | － | － | 学校教育ICT推進室 |
| | 展開方向5 安全で充実した教育環境を整備します | 施設維持管理上の不備による児童生徒の事故件数 | 0件 | → | 0件 | ☺ | 教育総務課 |
| | | トイレの洋式化率 | 76.8% | ↗ | 81.8% | ☺ | 教育総務課 |
| | | 通学路の安全対策実施件数 | 10件 | ↗ | 22件 | ☺ | 教育総務課 |
| 12 出会い・結婚・子育て支援 | | 婚姻率（人口千人当たりの婚姻件数） | 4.1（令和3年） | ↗ | 3.8（令和4年） | ☂ | 出会い・結婚支援室 |
| | | 合計特殊出生率 | 1.17（令和3年） | ↗ | 1.16（令和4年） | ☂ | 子育て世代包括支援センター |
| | | 児童館利用者数 | 543,459人 | ↗ | 620,416人 | ☀ | 多世代交流プラザ |
| | 展開方向1 結婚を望む人を支援します | 結婚支援事業への参加者数 | 44人（令和5年度） | ↗ | － | － | 出会い・結婚支援室 |
| | | 結婚新生活支援補助金の交付件数 | 30件（令和5年度） | ↗ | － | － | 出会い・結婚支援室 |
| | 展開方向2 安全で安心な妊娠・出産・産後が過ごせるように支援します | 妊娠11週以内の届出率 | 95.1% | ↗ | 94.9% | ☹ | 子育て世代包括支援センター |
| | | 産後ケア事業の利用者数（延べ日数） | 249日 | ↗ | 357日 | ☺ | 子育て世代包括支援センター |
| | | 1歳育児相談事業（アニバーサリー事業）の実施率 | 80.4% | ↗ | 84.7% | ☺ | 子育て世代包括支援センター |
| | 展開方向3 子育て家庭を支援します | 一時預かり利用者数 | 1,324人 | ↗ | 2,251人 | ☺ | 子育て世代包括支援センター |
| | | 児童虐待の解消率 | 92.9% | ↗ | 89.0% | ☹ | 子育て世代包括支援センター |
| | | 放課後児童クラブの待機児童数 | 0人 | → | 0人 | ☺ | こども政策課 |
| | | 放課後子ども総合プラン実施回数 | 32回 | ↗ | 63回 | ☺ | こども政策課 |
| | | ひとり親家庭のうち市の入学支援金により大学などに進学した割合 | 18.4% | ↗ | 23.2% | ☺ | こども政策課 |
| | 展開方向4 地域の子育て・子育ちを支援します | 中高生利用者数（市内の8児童館） | 37,055人 | ↗ | 50,771人 | ☺ | 多世代交流プラザ |
| | | 市の支援策を活用している子ども会の割合 | 73.6% | ↗ | 81.4% | ☺ | 多世代交流プラザ |

| 基本施策名 | | 指標名 | 基準値（単位も記入） | 目指す方向（もしくは目標値） | R5 実績値 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 展開方向5 健全な青少年を地域で育てます | 地域の大人とあいさつをしている中学生の割合 | 90.7% | ↗ | 89.2% | ☹ | こども政策課 |
| | | 地域活動に参加している児童生徒の割合 | 36.5% | ↗ | 31.3% | ☹ | こども政策課 |
| | | 学校外活動（ジュニアセミナー、自然体験活動）、放課後子ども教室への参加者数 | 826人 | ↗ | 901人 | ☺ | こども政策課 |
| 13 幼児教育・保育 | | 希望する幼児教育・保育サービスを受けることができている保護者の割合 | 82.2%（令和5年度） | ↗ | － | － | 幼児教育・保育課 |
| | 展開方向1 保育需要と多様化するニーズに対応します | 待機児童数 | 0人（令和4年4月1日時点） | → | 0人（令和5年4月1日時点） | ☺ | 幼児教育・保育課 |
| | | 延長保育を行っている保育所等の施設数 | 23施設 | ↗ | 23施設 | 😐 | 幼児教育・保育課 |
| | 展開方向2 保育士の確保、育成に取り組みます | 公立保育園の保育士に占める正規職員（保育士）の割合 | 49.0% | ↗ | 49.6% | ☺ | 幼児教育・保育課 |
| | | 研修参加者数 | 1,149人 | ↗ | 1,357人 | ☺ | 幼児教育・保育課 |
| | 展開方向3 幼児教育・保育施設の整備を進めます | 築30年以上となる市が所有する公立保育園の割合 | 72.7% | ↘ | 77.3% | ☹ | 幼児教育・保育課 |
| 14 スポーツ | | 健康づくりのためにスポーツに取り組む必要があると考えている成人市民の割合 | 86.7%（令和3年度） | ↗ | 86.4% | ☁※ | 文化・スポーツ課 |
| | 展開方向1 スポーツを通して健康で活力ある生活を送ることができる環境をつくります | スポーツ教室などへの参加者数 | 2,838人 | ↗ | 3,062人 | ☺ | 文化・スポーツ課 |
| | | スポーツ指導者登録者数 | 278人 | ↗ | 289人 | ☺ | 文化・スポーツ課 |
| | | 令和8（2026）年に愛知県でアジア競技大会が開催されることを知っている市民の割合 | 16.4%（令和3年度） | ↗ | 34.0% | ☺ | 文化・スポーツ課 |
| | 展開方向2 市民がスポーツ活動に快適に取り組める環境を整備します | 市が管理するスポーツ施設における維持管理上の不備による事故件数 | 0件 | → | 0件 | ☺ | 文化・スポーツ課 |
| | | 市が管理するスポーツ施設の年間利用者数 | 469,015人 | ↗ | 507,822人 | ☺ | 文化・スポーツ課 |
| 15 文化・芸術 | | 日頃から文化・芸術に親しんでいる市民の割合 | 51.8%（令和3年度） | ↗ | 50.8% | ☁※ | 文化・スポーツ課 |
| | 展開方向1 誰もが文化・芸術に親しみ心豊かな生活を送ることのできる環境をつくります | 市民会館での公演などへの参加者数 | 31,711人 | ↗ | 57,057人 | ☺ | 文化・スポーツ課 |
| | | （一財）こまき市民文化財団などが主催するイベントへの来場者数 | 30,029人 | ↗ | 33,268人 | ☺ | 文化・スポーツ課 |
| | | こども又は親子で参加する文化体験教室などへの参加者数 | 1,006人 | ↗ | 1,277人 | ☺ | 文化・スポーツ課 |
| | 展開方向2 文化・芸術の推進体制の充実を図ります | 小牧市内を活動拠点とする文化・芸術団体数 | 273団体 | ↗ | 272団体 | ☹ | 文化・スポーツ課 |
| | | 支援を行った文化団体が実施する事業への参加者数 | 45,511人 | ↗ | 48,694人 | ☺ | 文化・スポーツ課 |
| 16 生涯学習 | | 生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合 | 28.2%（令和3年度） | ↗ | 34.0% | ☀ | 文化・スポーツ課 |
| | 展開方向1 生涯を通して学ぶことができ、学んだ成果を地域活動などに活かし、生きがいを持って生活を送ることのできる環境をつくります | 市民講座受講者数 | 1,629人 | ↗ | 1,761人 | ☺ | 文化・スポーツ課 |
| | | 生涯学習の支援や指導に関わった市民の割合 | 5.6%（令和3年度） | ↗ | 7.0% | ☺ | 文化・スポーツ課 |
| | | 生涯学習に関する相談件数 | 257件 | ↗ | 293件 | ☺ | 文化・スポーツ課 |

| 基本施策名 | | 指標名 | 基準値（単位も記入） | 目指す方向（もしくは目標値） | R5 実績値 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 展開方向2 市民が生涯学習に快適に取り組める施設を整備します | 公民館利用率 | 38.5% | ↗ | 42.5% | ☺ | 文化・スポーツ課 |
| | 展開方向3 図書館サービスを充実します | 貸出利用者数 | 325,559人 | ↗ | 324,281人 | ☹ | 図書館 |
| | | 貸出点数 | 1,276,182点 | ↗ | 1,237,671点 | ☹ | 図書館 |
| | | レファレンス処理件数 | 14,474件 | ↗ | 13,202件 | ☹ | 図書館 |
| 17 男女共同参画 | | 働いている女性（20～50歳代）の割合 | 74.0%（令和3年度） | ↗ | 75.8% | ☀ | 多世代交流プラザ |
| | | 固定的な性別役割分担について見直すべきと思う男性の割合 | 80.2%（令和3年度） | ↗ | 77.2% | ☁※ | 多世代交流プラザ |
| | 展開方向1 あらゆる分野における女性の活躍を推進します | 審議会などへの女性委員の登用率 | 24.7% | ↗ | 24.5% | ☹ | 多世代交流プラザ |
| | | あいち女性輝きカンパニーの認証数 | 73件 | ↗ | 86件 | ☺ | 多世代交流プラザ |
| | 展開方向2 男女共同参画社会の形成に向けた意識改革や教育を推進します | 男女共同参画に関する講座の受講後アンケートで「男女共同参画について理解が深まった」と回答した受講者の割合 | 56.6%（令和5年度） | ↗ | － | － | 多世代交流プラザ |
| | | 男女共同参画に関する講座を受講した中学生のうち、受講後に男女共同参画に関する意識が変わった生徒の割合 | 49.9%（令和5年度） | ↗ | － | － | 多世代交流プラザ |
| 18 多文化共生 | | 小牧市多文化共生推進プランの達成率 | 64.9% | ↗ | 72.3% | ☀ | 多文化共生推進室 |
| | | 外国人市民との共生（仲良く暮らしていくこと）が必要と感じる市民の割合 | 84.9%（令和5年度） | ↗ | － | － | 多文化共生推進室 |
| | | 外国人市民の登録者数 | 10,424人（令和5年4月現在） | － | 10,788人（令和6年4月現在） | － | 多文化共生推進室 |
| | 展開方向1 外国人市民が住みやすい環境を整えます | 外国人市民向けホームページ等の年間アクセス数 | 7,267件 | ↗ | 5,300件 | ☹ | 多文化共生推進室 |
| | | 外国人相談件数 | 12,840件 | ↗ | 11,868件 | ☹ | 多文化共生推進室 |
| | | 小牧市国際交流協会が実施する大人向け日本語教室の年間受講者数 | 301人 | ↗ | 246人 | ☹ | 多文化共生推進室 |
| | 展開方向2 日本人市民と外国人市民が互いの「ちがい」を学び交流し、協働する機会を増やします | 市や小牧市国際交流協会が実施する日本人市民と外国人市民が交流する事業などへの参加者数 | 1,281人 | ↗ | 1,709人 | ☺ | 多文化共生推進室 |
| | | 災害時外国人支援ボランティアの登録者数 | 62人 | ↗ | 70人 | ☺ | 多文化共生推進室 |
| 19 シティプロモーション | | 交流人口 | 1,016,317人 | ↗ | 1,405,758人 | ☀ | ｼﾃｨﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ課 |
| | | 小牧市のイベント、施設に関する検索数 | 8,450件（令和5年度） | ↗ | － | － | ｼﾃｨﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ課 |
| | 展開方向1 シティプロモーションを推進します | ブランドロゴマークを知っている市民の割合 | 72.8%（令和3年度） | ↗ | 80.1% | ☺ | ｼﾃｨﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ課 |
| | | 市公式LINEの友だち数 | 61,391人 | ↗ | 66,612人 | ☺ | ｼﾃｨﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ課 |
| | 展開方向2 地域資源の魅力を高めます | 人に紹介したくなる観光資源があると答えた市民の割合 | 38.4%（令和3年度） | ↗ | 47.7% | ☺ | ｼﾃｨﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ課 |
| | 展開方向3 まちのにぎわいを創出します | 小牧市民まつり、こまき令和夏まつり、こまき信長夢夜会に来場又は参加した市民の割合 | 35.7%（令和元年度） | ↗ | 26.4% | ☹ | ｼﾃｨﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ課 |
| | | 来年以降も市民まつりに来たいと答えた市民の割合 | 33.7%（令和3年度） | ↗ | 34.8% | ☺ | ｼﾃｨﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ課 |
| | | こまき令和夏まつりに来場した10歳代・20歳代の割合 | 37.9%（令和元年度） | ↗ | 17.0% | ☹ | ｼﾃｨﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ課 |

| 基本施策名 | | 指標名 | 基準値<br>（単位も記入） | 目指す方向<br>（もしくは目標値） | R5<br>実績値 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 農業 | | 耕作放棄地の面積 | 65ha | ↘ | 65ha | ☁ | 農政課 |
| | | 鳥獣による農作物被害額 | 1,925千円<br>（令和3年度） | ↘ | 1,908千円<br>（令和4年度） | ☀ | 農政課 |
| | | 農家1戸当たりの生産農業販売実績額 | 177千円<br>（令和3年度） | ↗ | 181千円<br>（令和4年度） | ☀ | 農政課 |
| | 展開方向1<br>農業の担い手を育成・確保します | 農業体験事業への参加者数 | 20人 | ↗ | 20人 | 😐 | 農政課 |
| | | 認定新規就農者数 | 4人 | ↗ | 1人 | ☹ | 農政課 |
| | | 認定農業者数 | 25人 | ↗ | 26人 | ☺ | 農政課 |
| | 展開方向2<br>優良な農地を維持・保全します | 農業の担い手へ集積した農地面積 | 75.8ha | ↗ | 68.4ha | ☹ | 農政課 |
| | | 農地中間管理機構を活用した貸付面積 | 20.2ha | ↗ | 39.6ha | ☺ | 農政課 |
| | 展開方向3<br>農業にふれあえる機会を充実します | 市民菜園の利用者数 | 175人 | ↗ | 198人 | ☺ | 農政課 |
| | 展開方向4<br>農業生産基盤の整備を推進します | 新木津用水路改修工事の進捗率 | 54.5% | ↗ | 61.4% | ☺ | 農政課 |
| | | 小木排水機場改築事業の進捗率 | 20.1% | ↗ | 21.6% | ☺ | 農政課 |
| 21 商工業 | | 市内総生産額 | 1,039,563百万円<br>（令和2年度） | ↗ | 1,338,480百万円<br>（令和3年度） | ☀ | 商工振興課 |
| | | 製造品出荷額等 | 1,316,660百万円<br>（令和2年） | ↗ | 1,670,259百万円<br>（令和3年） | ☀ | 商工振興課 |
| | 展開方向1<br>既存事業者の経営を支援します | 市内事業者に対する各種補助件数<br>（累計） | 718件 | ↗ | 1,314件 | ☺ | 商工振興課 |
| | | 事業のデジタル化、省エネルギーの取組に対する補助件数 | 23件 | ↗ | 86件 | ☺ | 商工振興課 |
| | | こまき新産業振興センターにおける支援企業数 | 44件 | ↗ | 54件 | ☺ | 商工振興課 |
| | | 事業承継相談窓口の相談件数 | 12件<br>（令和5年度） | ↗ | － | － | 商工振興課 |
| | 展開方向2<br>産業集積を進めます | 市の補助制度を活用して進出した企業数<br>（累計） | 16件 | ↗ | 16件 | 😐 | 企業立地・次世代産業推進課 |
| | | 新たな立地許可基準（都市計画法第34条第12号の規定に基づく条例）を活用した立地件数<br>（累計） | 7件 | ↗ | 8件 | ☺ | 企業立地・次世代産業推進課 |
| | | 次世代産業人材の育成・確保の取組のため市の補助制度が活用された件数<br>（累計） | 8件 | ↗ | 20件 | ☺ | 企業立地・次世代産業推進課 |
| | | 次世代産業への参入に向けた販路開拓の取組のため市の補助制度が活用された件数<br>（累計） | 0件<br>（令和5年度） | ↗ | － | － | 企業立地・次世代産業推進課 |
| | 展開方向3<br>起業・創業希望者や企業のチャレンジを支援します | セミナー参加者の起業・創業者数<br>（累計） | 31人 | ↗ | 34人 | ☺ | 商工振興課 |
| | | 起業・創業者に対する補助件数<br>（累計） | 76件 | ↗ | 154件 | ☺ | 商工振興課 |
| | | 市内事業者の新たな取組や販路開拓に対する補助件数<br>（累計） | 65件 | ↗ | 133件 | ☺ | 商工振興課 |

| 基本施策名 | | 指標名 | 基準値（単位も記入） | 目指す方向（もしくは目標値） | R5 実績値 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 展開方向4 人材の確保・育成と求職活動を支援します | 就職フェアにおける1出展事業者当たりの来場者の人数 | 1.03人 | ↗ | 0.69人 | ☹ | 商工振興課 |
| | | 小牧市就労支援センターにおける新規相談者数に対する就職した人の割合 | 28.5% | ↗ | 28.4% | ☹ | 商工振興課 |
| | | 人材確保・育成に対する補助件数 | 20件 | ↗ | 36件 | ☺ | 商工振興課 |
| 22 歴史・文化財 | | 小牧の歴史や伝統文化に興味・関心を持っている市民の割合 | 61.0%（令和3年度） | ↗ | 68.4% | ☀ | 文化財課 |
| | 展開方向1 史跡小牧山を保存・活用します | 小牧山歴史館、小牧山城史跡情報館、小牧市創垂館の入場者数 | 80,629人 | ↗ | 137,304人 | ☺ | 小牧山課 |
| | 展開方向2 小牧固有の歴史・文化遺産を保存・活用します | 指定文化財の件数 | 44件 | ↗ | 43件 | ☹ | 文化財課 |
| | | 講座や展示、ワークショップ等への参加者数 | 37,137人 | ↗ | 38,181人 | ☺ | 文化財課・小牧山課 |
| 23 市街地整備 | | 居住誘導区域内居住率 | 71.5% | ↗ | 71.6% | ☀ | 都市計画課 |
| | | 居住誘導区域内人口密度 | 53.9人/ha | ↗ | 53.6人/ha | ☂ | 都市計画課 |
| | | 都市機能誘導区域における誘導施設立地数 | 44施設 | ↗ | 44施設 | ☁ | 都市計画課 |
| | | 東部地域の生産年齢（15歳～64歳）人口割合 | 58.3%（令和2年度） | → | － | － | 東部まちづくり推進室 |
| | 展開方向1 都市機能を適切に配置・誘導し、魅力のある市街地を形成します | 名鉄小牧駅の1日平均乗降者数 | 10,188人/日 | ↗ | 10,629人/日 | ☺ | 都市整備課 |
| | | 桃花台中心地区の歩行者・自転車通行量 | 170人/12h | ↗ | 186人/12h | ☺ | 都市整備課 |
| | 展開方向2 中心市街地の魅力を活かし歩いて楽しめる活気あるまちを形成します | 中心市街地の歩行者・自転車通行量 | 5,817人/12h | ↗ | 6,289人/12h | ☺ | 都市整備課 |
| | | 中心市街地の自主活動の参加者数 | 33人（令和5年度） | ↗ | － | － | 都市整備課 |
| | 展開方向3 良好な住環境及び工業系市街地を創出します | 土地区画整理事業の施行区域内の居住人口 | 9,553人 | ↗ | 9,536人 | ☹ | 区画整理課 |
| | | 土地区画整理事業の施行区域内の道路整備率 | 81.6% | ↗ | 82.2% | ☺ | 区画整理課 |
| | | 土地区画整理事業の施行区域内の建築行為申請面積 | 59.85ha | ↗ | 60.55ha | ☺ | 区画整理課 |
| | 展開方向4 東部地域への関心を高め、人や情報のつながりを深めます | 市ホームページ（東部まちづくりニュースのページ）の年間アクセス数 | 3,293件 | ↗ | 2,452件 | ☹ | 東部まちづくり推進室 |
| | | 東部地域トライアル活動支援及び東部地域トライアル活動支援補助金の申請件数（累計） | 6件 | ↗ | 9件 | ☺ | 東部まちづくり推進室 |
| 24 都市交通 | | 公共交通機関の1日平均利用者数 | 39,247人/日 | ↗ | 41,339人/日 | ☀ | 都市整備課 |
| | | 週1回以上公共交通機関を利用している市民の割合 | 14.5%（令和3年度） | ↗ | 16.6% | ☀ | 都市整備課 |
| | 展開方向1 より多くの市民が利用できる持続可能な公共交通体系を構築します | こまき巡回バス「こまくる」の1日平均利用者数 | 2,088人/日 | ↗ | 2,269人/日 | ☺ | 都市整備課 |
| | | 名鉄バス間内岩倉線の1日平均利用者数 | 84人/日 | ↗ | 90人/日 | ☺ | 都市整備課 |

| 基本施策名 | | 指標名 | 基準値（単位も記入） | 目指す方向（もしくは目標値） | R5 実績値 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 展開方向2 公共交通の利用を促進します | 過去1か月以内に公共交通機関を利用したことがある市民の割合 | 42.4%（令和5年度） | ↗ | － | － | 都市整備課 |
| | | 啓発活動やイベントなどの実施回数 | 4回 | ↗ | 4回 | 😐 | 都市整備課 |
| | | バス停の待合環境整備箇所数（累計） | 13か所 | ↗ | 18か所 | ☺ | 都市整備課 |
| 25 道路・橋りょう | | 主要な渋滞発生箇所数 | 20か所 | ↘ | 20か所 | ☁ | 道路課 |
| | | 歩行者、自転車の交通事故件数 | 150件 | ↘ | 185件 | ☂ | 道路課 |
| | 展開方向1 円滑に移動できる道路を整備します | 都市計画道路の整備率 | 78.1% | ↗ | 78.1% | 😐 | 道路課 |
| | | 狭あい道路の整備率 | 0% | ↗ | 0.2% | ☺ | 道路課 |
| | | 渋滞対策の実施箇所数（累計） | 5か所 | ↗ | 6か所 | ☺ | 道路課 |
| | 展開方向2 歩行者や自転車が安全に通行できる道路環境を整備します | 通学路歩道（歩車分離）整備率 | 50.4% | ↗ | 50.6% | ☺ | 道路課 |
| | | 自転車通行帯の整備率 | 0% | ↗ | 0% | 😐 | 道路課 |
| | 展開方向3 重要橋りょうと横断歩道橋の安全な通行を確保します | 重要橋りょうの長寿命化修繕工事の進捗率 | 46.9% | ↗ | 47.3% | ☺ | 道路課 |
| | | 横断歩道橋修繕工事の進捗率 | 68.8% | ↗ | 75.0% | ☺ | 道路課 |
| 26 上下水道 | | 基幹管路の事故割合（水道事業） | 0件／100km | → | 0件／100km | ☀ | 上下水道施設課 |
| | | 公共下水道普及率（下水道事業） | 77.9% | ↗ | 78.3% | ☀ | 上下水道業務課 |
| | 展開方向1 健全かつ安定的な経営でサービスを維持します | 経常収支比率（水道事業） | 111.9% | 100%以上 | 111.0% | ☺ | 上下水道経営課 |
| | | 経常収支比率（下水道事業） | 99.7% | 100%以上 | 101.1% | ☺ | 上下水道経営課 |
| | | 経費回収率（下水道事業） | 58.8% | ↗ | 59.0% | ☺ | 上下水道経営課 |
| | 展開方向2 安全な水を供給します | 水質基準不適合率 | 0% | → | 0% | ☺ | 上下水道施設課 |
| | 展開方向3 公共下水道の普及・接続を促進します | 公共下水道整備進捗率 | 72.0% | ↗ | 73.2% | ☺ | 上下水道施設課 |
| | | 公共下水道接続率 | 72.1% | ↗ | 72.4% | ☺ | 上下水道業務課 |
| | 展開方向4 施設の適切な維持及び計画的な更新を推進します | 管路の耐震管率（水道事業） | 25.1% | ↗ | 25.8% | ☺ | 上下水道経営課 |
| | | 水道施設事故停止件数（水道事業） | 0件 | → | 0件 | ☺ | 上下水道施設課 |
| | | 下水道施設事故停止件数（下水道事業） | 0件 | → | 0件 | ☺ | 上下水道施設課 |
| | | 不明水率（下水道事業） | 21.6% | ↘ | 22.0% | ☹ | 上下水道経営課<br>上下水道施設課 |

| 基本施策名 | | 指標名 | 基準値（単位も記入） | 目指す方向（もしくは目標値） | R5 実績値 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 27 河川・水路 | | 床上、床下浸水の被害戸数 | 3戸 | ↘ | 0戸 | ☀ | 河川課 |
| | 展開方向1 浸水区域を解消します | 準用河川の整備率 | 24.7% | ↗ | 24.9% | ☺ | 河川課 |
| | | 雨水整備区域の整備率 | 9.5% | ↗ | 9.5% | 😐 | 河川課 |
| | 展開方向2 河川への雨水流出を抑制します | 雨水貯留施設整備の進捗率 | 72.2% | ↗ | 72.2% | 😐 | 河川課 |
| 28 公園・緑地・緑道 | | 公園緑地の箇所数 | 191か所 | ↗ | 192か所 | ☀ | みどり公園課 |
| | | 市内の公園を訪れた市民の割合 | 62.0%（令和3年度） | ↗ | 63.1% | ☁※ | みどり公園課 |
| | 展開方向1 緑の多い環境を整備します | 市民1人当たりの都市公園面積 | 7.77㎡ | ↗ | 7.78㎡ | ☺ | みどり公園課 |
| | | ワークショップなどを通じ、地域住民のニーズを反映させて新たに整備・改修した都市公園数 | 5か所 | ↗ | 6か所 | ☺ | みどり公園課 |
| | | 市からの働きかけにより緑化推進に取り組んだ企業数 | 40件 | ↗ | 42件 | ☺ | みどり公園課 |
| | 展開方向2 安全・快適な公園を維持します | 公園管理者の過失による事故件数 | 1件 | ↘ | 0件 | ☺ | みどり公園課 |
| | | 管理委託団体が管理する都市公園数 | 94公園 | ↗ | 95公園 | ☺ | みどり公園課 |
| | 展開方向3 公園の魅力向上を図ります | 市民四季の森を訪れた人数 | 91,399人（令和5年度） | ↗ | － | － | みどり公園課 |
| 29 住宅 | | 耐震化等を要する木造住宅の戸数 | 2,785戸 | ↘ | 2,752戸 | ☀ | 建築課 |
| | | 新築住宅のうち長期優良住宅認定住戸の割合 | 42.3% | ↗ | 43.6% | ☀ | 建築課 |
| | | 管理不全空き家の棟数 | 27棟 | ↘ | 24棟 | ☀ | 都市計画課 |
| | | 20～40歳代の平均転出超過数（3か年平均） | 438人 | ↘ | 411人 | ☀ | 都市計画課 |
| | 展開方向1 安全・安心な住宅の整備を進めます | 民間木造住宅耐震改修費などの補助件数 | 34件 | ↗ | 33件 | ☹ | 建築課 |
| | | マンション管理計画認定を受けた件数 | 0件（令和5年度） | ↗ | － | － | 建築課 |
| | 展開方向2 人にやさしい市営住宅を供給します | 福祉世帯の入居率 | 68.2% | ↗ | 68.2% | 😐 | 建築課 |
| | 展開方向3 管理不全の空き家がない、良好な居住環境を形成します | 空き家セミナー及び個別相談会参加者数 | 24人 | ↗ | 37人 | ☺ | 都市計画課 |
| | | 空き家管理業務実施件数（累計） | 16件 | ↗ | 89件 | ☺ | 都市計画課 |
| | | 空き家等除却工事費補助金交付件数（累計） | 86件 | ↗ | 116件 | ☺ | 都市計画課 |
| | | 定住促進補助金（中古住宅活用タイプ）交付件数（累計） | 34件 | ↗ | 82件 | ☺ | 都市計画課 |
| | 展開方向4 若年世代の定住を促進します | 定住促進事業による若年世代の定住者数（累計） | 1,652人 | ↗ | 2,335人 | ☺ | 都市計画課 |

# 自治体経営編

| 基本施策名 | | 指標名 | 基準値<br>（単位も記入） | 目指す方向<br>（もしくは目標値） | R5<br>実績値 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 30 協働・情報共有 | | 市内の公益的活動（ボランティア活動、市民活動、NPO活動、事業所などの地域貢献活動など）に過去1年間で1回以上参加したことがある市民の割合 | 9.0%<br>（令和5年度） | ↗ | － | － | 支え合い協働推進課 |
| | | 区や、区を単位とした地域活動（地域3あい事業、子ども会、老人クラブなど）に過去1年間で1回以上参加したことがある市民の割合 | 21.9%<br>（令和5年度） | ↗ | － | － | 自治会支援室 |
| | | 市からの情報発信が充実していると感じる市民の割合 | 72.6%<br>（令和5年度） | ↗ | － | － | 広報広聴課 |
| | 展開方向1<br>協働によるまちづくりの環境を充実します | こまき市民交流テラス「ワクティブこまき」利用登録団体数 | 262団体 | ↗ | 293団体 | ☺ | 支え合い協働推進課 |
| | | 協働による事業実施数 | 73事業 | ↗ | 70事業 | ☹ | 支え合い協働推進課 |
| | 展開方向2<br>地域コミュニティ活動を推進します | 区長を対象とした研修会などの参加者数 | 238人 | ↗ | 309人 | ☺ | 自治会支援室 |
| | | 自治会連絡網アプリケーションを活用する世帯数 | 495世帯 | ↗ | 853世帯 | ☺ | 自治会支援室 |
| | 展開方向3<br>情報共有を推進します | 市ホームページへのアクセス件数 | 740,454件／月 | ↗ | 720,284件／月 | ☹ | 広報広聴課 |
| | | 市政情報に関する動画の投稿数<br>（累計） | 759件 | ↗ | 917件 | ☺ | 広報広聴課 |
| | | 市SNSのフォロワー数 | 73,390人 | ↗ | 76,377人 | ☺ | 広報広聴課 |
| | | デジタルデバイド対策（スマホ講座、スマホ相談会等）の参加者数 | 189人 | ↗ | 1,359人 | ☺ | 広報広聴課<br>行政改革課 |
| | | オープンデータとして公開したデータ数 | 158<br>（令和5年度） | ↗ | － | － | 行政改革課 |
| 31 行政サービス | | マイナンバーカード保有率 | 66.8% | ↗ | 74.4% | ☀ | 市民窓口課 |
| | | 来庁件数（呼び出しシステムによる発券数） | 183,554件 | ↘ | 162,011件 | ☀ | 市民窓口課 |
| | | 各種証明書の交付におけるコンビニ交付の割合 | 20.0% | ↗ | 28.3% | ☀ | 市民窓口課 |
| | | 指定管理者制度導入施設の利用者数 | 1,873,483人 | ↗ | 2,345,971人 | ☀ | 行政改革課 |
| | | 行政サービスに満足している市民の割合 | 82.5%<br>（令和5年度） | ↗ | － | － | 行政改革課 |
| | 展開方向1<br>利便性の高い市民サービスを提供します | 転入予約型ワンストップ窓口の利用者数 | 65件 | ↗ | 56件 | ☹ | 市民窓口課 |
| | | こまき山コンシェルジュの回答について、市民に「役に立った」と評価された割合 | 59.3%<br>（令和5年度） | ↗ | － | － | 広報広聴課 |
| | | オンライン申請が可能な行政手続数 | 122件 | ↗ | 144件 | ☺ | 行政改革課 |
| | | オンライン申請数 | 257,971件 | ↗ | 282,400件 | ☺ | 行政改革課 |
| | 展開方向2<br>民間活力の活用や連携を推進します | 協定等を締結した事業者等と連携して実施した事業数 | 56件 | ↗ | 57件 | ☺ | 秘書政策課 |
| | | 指定管理者制度導入・民間移管を新たに実施した施設数<br>（累計） | 0件 | ↗ | 1件 | ☺ | 行政改革課 |
| | | 「課題提案型実証事業」に基づいて実証した事業数<br>（累計） | 2件 | ↗ | 2件 | 😐 | 行政改革課 |

| 基本施策名 | | 指標名 | 基準値<br>（単位も記入） | 目指す方向<br>（もしくは目標値） | R5<br>実績値 | 今回の結果 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 32 行政運営 | | 人件費比率（普通会計ベース） | 15.3%<br>（令和3年度） | ↘ | 15.7%<br>（令和4年度） | ☂ | 人事課 |
| | | 類似団体における職員数の順位 | 3/17団体 | ↗ | 3/17団体 | ☁ | 人事課 |
| | | 自治体経営に係る展開方向の進捗状況を測定するための指標の改善数 | 23<br>（令和5年度） | ↗ | － | － | 行政改革課 |
| | 展開方向1<br>行政を取り巻く環境に即した人材マネジメントと組織体制の整備を行います | 新規採用職員の充足率 | 91.9% | ↗ | 92.4% | ☺ | 人事課 |
| | | 行動指針に基づいた行動ができている職員の割合 | － | ↗ | － | － | 人事課 |
| | | 自己啓発に取り組んだ職員数 | 146人 | ↗ | 162人 | ☺ | 人事課 |
| | | 年次有給休暇の取得率（行政職） | 58.5% | ↗ | 67.0% | ☺ | 人事課 |
| | | 組織横断的なプロジェクトチームの設置数 | 6件 | ↗ | 4件 | ☹ | 行政改革課 |
| | 展開方向2<br>コンプライアンスを推進します | 内部統制制度において識別した不備の件数 | 15件 | ↘ | 20件 | ☹ | 人事課 |
| | | ハラスメントを受けたと感じた時にどこにも相談しなかった職員の数 | 30件 | ↘ | 37件 | ☹ | 人事課 |
| | 展開方向3<br>事業効果の高い施策形成に取り組みます | 行政評価による削減額<br>（累計） | 49,972千円 | ↗ | 119,141千円 | ☺ | 行政改革課 |
| | | デジタルの活用に関する研修受講者数 | 190人 | ↗ | 287人 | ☺ | 行政改革課 |
| | 展開方向4<br>業務の改善・効率化を推進します | 業務プロセスの見直しや業務改善を実施した事業数 | 260件 | ↗ | 277件 | ☺ | 行政改革課 |
| | | 文書電子処理率（電子による起案・供覧の処理率） | 71.3% | ↗ | 78.7% | ☺ | 総務課 |
| | | フリーアドレスの導入部署数<br>（累計） | 0課室 | ↗ | 2課室 | ☺ | 行政改革課 |
| 33 財政運営 | | 経常収支比率（参考:類似団体順位*） | 88.7%<br>（27/37団体*）<br>（令和3年度） | →（↗） | 89.5%<br>（15/30団体*）<br>（令和4年度） | － | 財政課 |
| | | 財政力指数（参考:類似団体順位*） | 1.22<br>（4/37団体*）<br>（令和3年度） | →（↗） | 1.20<br>（4/30団体*）<br>（令和4年度） | － | 財政課 |
| | | 有形固定資産減価償却率（資産老朽化比率） | 52.8%<br>（令和3年度） | ↘ | 53.6%<br>（令和4年度） | ☂ | 財政課 |
| | 展開方向1<br>受益者負担の適正化と歳入確保の強化を推進します | こまき応援寄附金の寄附額 | 1,325,815千円 | ↗ | 1,461,289千円 | ☺ | 財政課<br>商工振興課 |
| | | 市税収納率 | 96.7%<br>（令和3年度） | ↗ | 97.3%<br>（令和4年度） | ☺ | 収税課 |
| | 展開方向2<br>歳出の削減と合理化を推進します | 前年度当初予算と比べた経常事業経費の削減額<br>（累計） | 138,693千円 | ↗ | 140,884千円 | ☺ | 財政課 |
| | 展開方向3<br>健全で計画的な財政運営を推進します | 実質公債費比率 | 0.8%<br>（令和3年度） | 2.5%以内 | 0.7%<br>（令和4年度） | ☺ | 財政課 |
| | 展開方向4<br>計画的な公共ファシリティマネジメントを推進します | 保全計画に基づいて実施した施設の修繕・改修件数<br>（累計） | 8件 | ↗ | 19件 | ☺ | 資産管理課 |